北海道 石狩郡 新篠津村 広報誌
Shinshinotsu Community News

新しのつ

SHIN—SHINO—TSU

No.731
2023
10
Oct.

4年ぶりに、
笑顔サク。

今月の表紙

8月26日、自治センター前にて4年ぶりに行われた「青空まつり」。終幕を飾る打上花火を撮影しました。来場者の笑顔が咲き誇り、思い出残る一日でした。

広報誌の電子版はこちらからご覧いただけます

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています

祭り

村民の方から写真の
提供がありました！

ペンネーム：つるさん
タイトル：青空まつり
ひとこと：４年ぶりに
またこの景色が見れて
感動しました。

青空

特集

4年ぶりに、笑顔サク。

8月26日、新篠津村自治センター前。

10時00分、快晴。

午前中から気温が30度を超える中、高らかに鳴る号砲を合図に、新篠津村の夏の最大イベント「青空まつり」が44回目4年ぶりに開催されました。

当日は、村内外から約3,500人が来場。村民が待ちに待った祭りに、村内は熱気に包まれ、出店・体験・ステージイベントなど、絶え間なく盛り上がりを見せました。

今月号の特集では、青空まつりの思い出を写真とともに振り返ります。

未来を担う子どもたちに故郷の思い出を。

特集「高齢者のくらしを支える地域づくり」

高齢者サロン

～生きがいのある、楽しい居場所づくり～

・コロナもあり人と会う機会が減ったな
・仲間と楽しくおしゃべりしたいな
・生活の悩みを誰かに相談したいな

など、感じたことはありませんか？

このような疑問や悩みを解消するため、村では住民主体の「高齢者サロン」を開催しています。

顔をみたら「ほっと」する。高齢者サロンに参加して、そんな関係を築いてみませんか？

中央 ゆうあいの会

↑レクリエーションでハーモニカを演奏する様子。優しい音色にみんな感動していました。

←血圧測定や健康相談も行っています。生活の心配ごとなど何でもご相談ください。

どんな活動をしているの？

4・6・9・11月の年に4回、中央自治区に住んでいる80歳以上の方を対象に、村保健センター（または自治センター）で実施している「ゆうあいの会」。毎回、30名ほど集まり、主にレクリエーションや健康体操を賑やかに楽しく行っています。

昼食の提供もあり、調理は自治区のボランティアの方々が協力。参加者は、栄養たっぷりの食事を仲間と一緒に楽しみ、交流を深めています。

参加者の声

ゆうあいの会には、お友達に誘われて参加しました。大変な時に相談する相手は、家族が多かったのですが、サロンに参加して「声を掛け合える仲間」が増えたと思います。行き帰りもちょうどいい運動になってます。

サロンの詳細
- 時 年4回 10：00～
- 所 村保健センター
- 他 会費 なし

第一　世代交流「和」

託児所の小学生と一緒に「折り紙」などのレクを楽しみました！

活動の魅力は何ですか？

　このサロンの魅力は、元気いっぱいの小学生と交流ができること。レクを通じて、笑いあい・学びあい・支えあうことで、世代を越えた「見守り」の仕組みを作っています。
　また、準備や運営の多くは、ボランティアで行っています。

サロンの詳細
時　月１回 第三水曜日 10：00 ～
所　コミュニティプラザ第一　他　会費 なし

担当者の声！

社会福祉協議会
庶務係長　戸賀澤

心身の健康を維持するためにも地域の仲間づくりは大切です。サロンは「みんなで集まること」そのものに意味があります。社会福祉協議会でも、全村の高齢者を対象に月２回「ふれあいレストラン」を開催しています。興味のある方は、下記までお問い合わせください。

新篠津村社会福祉協議会
0126-58-3335

高齢者サロンって何？

　高齢者サロンとは、概ね80歳以上の高齢者が気軽に集まれる交流の場・仲間づくりの場のことです。村では、自治区を範囲に自主的に運営されており、村社会福祉協議会が活動の支援をしています。サロンは、食事やレクをしながら交流する場、困りごとが相談できる場など、地域の拠点としての役割を担っています。

第五　いきいき楽友

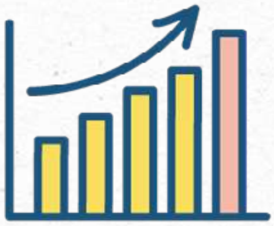
どんな活動をしているの？

　月に１回開催している第五自治区の「いきいき楽友」では「レクリエーション」と「昼食会」を実施。取材当日の昼食はボランティアの方が、育てた野菜をそれぞれ持ち寄り、季節を感じる料理を提供していました。

参加者の声

「元気にしてる？」って、自分のことを気にかけてくれる仲間がいるとやっぱり安心。

サロンの詳細
時　月１回 第二火曜日 10：30 ～
所　第五地区ふれあいセンター　他　会費 なし



新しのつのお財布 お知らせ！

令和４年度 決算報告

村の令和４年度の一般会計・各特別会計の決算が９月の第３回村議会定例会で認定されました。税金や国・道からの補助金などが、どのように使われたのか決算状況をお知らせします。

一般会計 歳入から歳出を差し引いた収支は8,585万円の黒字になりました。

※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、合計などが一致しないところがあります

※公共施設の建替工事や改修工事の金額が増加したため

8,585万円 うち令和３年度からの繰越金などを除く単年度収支は793万円

令和４年度 一般会計の歳入と歳出

歳入 43億9,344万円

歳出 43億759万円

歳出の主な事業

A 総務費
地域振興や一般事務などに使うお金
- 役場庁舎耐震改修工事
- 基金の積立て
- 情報化推進事業
- ふるさと納税事業

B 土木費
道路や住宅、まちづくりに使うお金
- 南団地建替工事
- 道路・橋梁補修工事
- 除雪事業
- 公共施設維持管理事業

C 民生費
各種福祉事業を行うためのお金
- 自立支援介護給付事業
- 医療費給付事業
- 保育所運営事業
- 価格高騰緊急支援給付金

D 農業費
農業の振興や用水の維持に使うお金
- 多面的機能支払交付金
- 揚水機場管理事業
- 道営土地改良事業負担金
- 各種農業支援交付金等

E 教育費
学校教育や社会教育に使うお金
- 学校施設・運営管理経費
- 第３地区社会教育会館建替工事
- 給食センター経費

F 公債費 借入金の返済に使うお金

G 衛生費
村民の健康づくりやごみ処理に使うお金
- 予防接種事業
- 新型コロナワクチン接種事業
- 住民検診・妊産婦支援事業

H 商工費
観光や商工業の振興に使うお金
- 商品券発行補助金
- 温泉設備等改修工事
- 観光ＰＲ事業

I 消防費
消防署や消防団に使うお金

J 議会費
村議会の運営を行うためのお金

基金

まちづくりや農業振興など使い道を決めたお金や、財源の過不足を調整するときに使う貯金

一般会計…16億2,111万円
財政調整基金・減債基金・公共施設営繕基金など

特別会計…2,368万円
国民健康保険事業財政調整基金・介護給付準備基金など

特別会計　4つある特別会計はいずれも赤字はありませんでした。

※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、合計などが一致しないところがあります

特別会計とは、特定の収入、特定の支出を一般会計と切り離して独立して行う会計のことです。お財布を分けることでお金の流れを明確にし、管理しやすくしています。

会計名	国民健康保険	農業集落排水事業	介護保険	後期高齢者医療
歳入	6億7,529万円	6,668万円	4億1,312万円	6,264万円
歳出	6億6,174万円	6,668万円	3億9,072万円	6,262万円
差引	1,355万円	0円	2,240万円	2万円

? 自主財源・依存財源とは

自主財源 … 村税や施設使用料、住民票発行手数料、ふるさと納税など、村が自主的に収入することができるお金

依存財源 … 国や道からの補助金・交付金など、一定の基準に基づき交付され、村が独自に収入額を決められないお金

※建設工事などのために借りた村債が増加したため

区分		決算額	構成比	村民1人当り
村民税	個人	1億2,860万円	39.3%	4万5,506円
	法人	1,212万円	3.7%	4,288円
固定資産税		1億4,097万円	43.0%	4万9,881円
軽自動車税		1,423万円	4.3%	5,036円
村たばこ税		2,659万円	8.1%	9,410円
入湯税		503万円	1.5%	1,781円
合計		3億2,754万円	100.0%	11万5,903円

※上記のほか、国民健康保険税は、決算額1億6,931万円（特別会計）。

現状　財政は健全です。将来にわたり健全化を保ちます。

自治体の財政状況を判断する指標「財政健全化判断比率」は、いずれも良好な状態です。1つでも早期健全化基準以上になると財政健全化団体となり「財政健全化計画」を定め、改善努力に取り組まなければなりません。

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債比率	将来負担比率
新篠津村	赤字なし	赤字なし	2.2	なし
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	30.0	35.0	

▼ 農業集落排水事業特別会計の資金不足比率

資金不足比率 … 不足なし　　経営健全化基準 … 20.0

? 資金不足比率とは

企業会計（農業集落排水事業特別会計）の資金不足が営業収益に占める割合を示しており、この比率が20%を超えると経営健全化団体になります。

村・教育行政報告

新篠津村議会第３回定例会が９月６日から15日の日程で開催され、議会初日に村長・教育長が村・教育行政報告を行いました。

01 要望・要請活動

石狩管内の重点課題を国会議員へ要望

▷７月６日、石狩地方開発促進期成会として、石狩管内における懸案事項について、北海道開発局、札幌開発建設部など５団体に対し要望を行いました。

▷７月18日、石狩管内政策懇談会に出席し、農業農村整備事業の推進、農産物の適正な価格形成の２項について要望を行いました。

▷７月25日、石狩地方開発促進期成会として、石狩管内における道路や農業事情、治水対策などの重点課題について国会議員および各関係省庁へ要望を行いました。

02 地域振興・まちづくり

友好都市提携記念事業を実施

▷お試し暮らし住宅について、今年度は６月に埼玉県から１件、７月も同県から１件、８月は兵庫県から１件、９月は埼玉県から１件と計４件の利用申し込みがありました。

▷８月９日、湧別町・新篠津村友好都市提携20周年を記念し、本村運動公園において記念植樹式を挙行しました。両町村の町村長はじめ、関係者とともにエゾヤマザクラの苗木20本を植樹しました。

▷８月10日、日本ハムファイターズの「北海道応援大使プロジェクト」における市町村事業として、村民ファイターズ応援観戦ツアーを催行しました。事前申し込みに応募した村民48名がエスコンフィールド北海道を訪れ、試合観戦を楽しみました。

04 戸籍・マイナンバーカード

マイナンバーカードの普及を促進

▷本村のマイナンバーカードの交付枚数は、令和５年７月末時点で2,164枚、交付率は76.4％（令和５年７月末時点人口2,832人）です。

▷今年度も引き続き、マイナンバーカードの普及を図るため、マイナンバーカード普及推進員を毎週火曜日と木曜日に戸籍年金係の窓口に配置をして、申請のサポートをしています。

▷平日来庁できない方のために夜間延長申請に加え、９月まではマイナンバーカード出張申請受付サポート事業も実施していました。

07-1 保健・医療関係

仲間とともに健康づくりを

▷７月11日から２日間、30歳以上の方を対象とした総合健診を実施し、102名が受診しました。

▷６月から９月まで、毎週月曜日から金曜日、口腔機能の維持向上を目的とした予防体操「誰でもかみかみ体操チャレンジ」を自治センターにおいて実施しました。

▷８月から、妊娠中・育児中の方を対象にし、地域の仲間づくりを目的とした「ゆるヨガクラス」を実施しており、11月まで開催する予定です。

07-2 保健・医療関係

コロナワクチンの秋接種を実施

▷介護予防への理解を促すため、いきいき百歳体操の利用者増加を目的に、今年も「百歳体操フェスティバル」を６月29日に自治センターにて開催しました。

▷５月から、新型コロナワクチン感染症に対する重症化予防対策として、65歳以上の高齢者や基礎疾患を有する方に、８月末まで春接種を行いました。９月からは、生後６ヵ月以上の方を対象とした秋接種を開始しています。

03-1 商工業・観光業
４年ぶりに青空まつりを実施

▷しんしのつ産直市場は、昨年に比べて来店客も増え順調に売上げを伸ばしています。

▷しのつ公園キャンプ場は、学校の夏休み期間中に家族連れなどの利用客が訪れ、平年並みの営業となっています。また、昨年から新設した焚き火エリアの利用も好調です。

▷新しのつ青空まつりについて、今年は第44回目として４年ぶりに開催しました。今回は初の試みとしてドローンサッカーや各地から参加したゆるキャラステージイベントなどを行い、村内外から約3,500人が訪れました。

03-2 商工業・観光業
天文台が10月に完成予定

▷星空の魅力体験会イベントを「新しのつ星空ウォッチング」と銘打ち、６月24日と８月13日に開催しました。両回の開催とも村内外から280名余りの来場者が訪れました。

▷現在、星座観測場の隣接地に「しんしのつ天文台(仮称)」の建設が始まっています。「空のまち新篠津」としての観光のブランド化を目指し、今年10月の完成を予定しています。

05 住民生活・交通安全
全道一斉の交通死亡事故抑止活動を実施

▷「交通事故死ゼロの日」500日（達成日：令和６年１月13日）の達成に向けて、交通安全運動に取り組んでいます。

▷夏の交通安全運動は、７月13日から10日間実施し、通学路においての街頭指導および啓発活動を行いました。また、８月18日、役場前歩道上にて、関係団体とともに全道一斉の交通死亡事故抑止活動「旗の波運動」を実施しました。

▷今年度の高齢者運転免許証自主返納サポート事業は、９名の方（令和５年８月末現在）が申し込み、公共交通機関の利用券を交付しています。

▷６月21日から２日間、各自治会館前などで狂犬病予防注射を実施しました。

06 福祉関係
犯罪や非行のない社会づくりを

▷例年７月は「社会を明るくする運動」の強調月間となっていることから、７月10日に江別地区保護司会の会長ほか事務局が来庁し、本村の保護司とともに、法務大臣からのメッセージの伝達を受けました。

▷７月11日、自治センターにおいて、平和祈念戦没者慰霊祭を挙行しました。戦没者に哀悼の意を表し、心新たに戦争で亡くなられた英霊に対し、平和に対する誓いを決意したところです。

08-1 農産業・建設工事
水稲・小麦の生育は順調

▷水稲について、農業改良普及センター発表の８月15日現在の生育状況は、平年より早い「早５日」で、草丈および葉数は「平年並」茎数は「やや多」と報告され、順調に生育しています。

▷秋まき小麦は、1,271㌶の作付けに対して、粗麦で7,630㌧の受け入れを終えました。昨年と比較するとタンパク値は低く、概ね順調に推移しています。

▷環境保全型農業直接支払交付金は、有機農業、堆肥、カバークロップ、秋耕の全国共通の取り組みに加えて、北海道での地域特認であるフェロモントラップを加えて取り組んでいます。本村では663.35㌶、87戸の農家により進められています。

08-2 農産業・建設工事
公営住宅南団地の解体が順調に進む

▷農業被害対策は、新篠津村鳥獣被害防止対策協議会により取り組んでいます。８月28日現在、川下地区および北新地区などで８頭を捕獲しており、くくり罠は10月末まで設置します。

▷７月28日「厚別区民まつり」に村とＪＡ女性部が協働して出店し、新篠津産の安心・安全な農産物を大いにアピールしました。

▷６月下旬以降に発注した公共施設屋上防水工事並びに公営住宅南団地建替事業解体工事についても、現在順調に進捗しています。

▷９月以降発注の工事関係では、道路の段差を解消する村道維持補修工事を予定しています。

01-2 学校教育・学校行事
本年度も高校生対象の支援を実施

▷７月21日、札幌市において第58回北海道市町村教育委員研修会が開催され、教育長、教育委員全員が参加しました。研修会では「教育現場における多様な性の理解」と題し、にじいろほっかいどうの真田陽氏による講話や「特別支援教育の充実」について、文科省初等中等教育局特別支援課企画官より説明があり、その後、洞爺湖町、下川町の教育長より事例発表が行われました。

▷子育て支援の一環として、平成28年度から実施している「はばたけ高校生応援支援金」は、本年度これまでに、60世帯（生徒数69名）の方からの申請を受け付けました。今後、９月・３月の２回に分けて、一人６万円の支援金を交付します。

01-1 学校教育・学校行事
2学期も元気に登校しています

▷６月25日、中学校体育館で音楽部初めての試みとなる地域コンサートが開催され、保護者をはじめ村内外より150名を超える観客が集まりました。

▷７月21日、旧北海道四季劇場で中学３年生を対象に芸術鑑賞として、ミュージカル「リトルマーメイド」を観劇しました。

▷小・中学校ともに、７月25日から夏休みが始まり、８月21日から２学期が始まりました。夏休み期間中には、大きな事故などもなく、子どもたちは元気に登校しています。

02-2 社会教育・野外活動
充実したふれあいを

▷８月８日から２泊３日で、湧別町との友好都市交流キャンプ事業を、本村において実施しました。本村から小学５年生８名と、湧別町から小学５・６年生９名が参加しました。当初予定していたしのつ公園でのキャンプは実施できませんでしたが、Ｂ＆Ｇ体育館やのびのびプールでの活動を通して交流を深めました。この事業には、本村から大学生リーダー１名と湧別町からジュニアリーダー１名も参加し、異年齢とのふれあいも高めることができました。

02-1 社会教育・野外活動
キャンピングワーク事業を実施

▷７月９日、第３地区社会教育会館の落成式が自治区主催により開催され、式典終了後には「こけら落とし」として落語家「林家卯三郎」さんの高座を行いました。

▷８月１日から２泊３日の日程で、様似町において、６年生男女10名、高校生リーダー３名が参加して、キャンピングワーク事業を実施しました。好天の中、アポイ岳の登山などのイベントを予定どおり実施しました。

02-3 社会教育・野外活動
小学校の校外活動が盛況

▷小学校では、６月上旬からクラブ活動が始まりカヌークラブの指導支援を行っています。クラブ活動は、９月11日まで全７回の活動予定があり16名の児童たちに海洋スポーツの普及と心と体の健康づくりを推進しています。

▷７月20日「石本裕子ピアノコンサート・イン新篠津」を開催しました。昨年は中学校全生徒を対象として実施しましたが、本年度は、小学校４年生から６年生を対象として開催しました。

まちの話題

夜風を感じながら―
元気アップ教室 夜の部 "ヨガストレッチを体験"

8月31日、B&G体育館にて「元気アップ教室夜の部―初めての方でもお気軽に―おためし癒しと健康のYOGA」を開催しました。

この教室の夜間開講は初。当日は、20歳代～70歳代と幅広い年代で20名の参加がありました。

連日暑い日が続いた中、この日は嬉しくも心地よい夜風。参加者は、日頃の疲れた身体をほぐしつつ、筋力アップの運動を体験しました。

終了後、参加者からは、「1時間15分のプログラムがあっという間で、身体も軽くなりました」「夜の教室は仕事終わりに参加できるので、またぜひ開催して欲しいです」と笑顔で話していました。

今回の夜の部は試験的に実施。来年度より回数を増やして開催する予定です。

みんなで楽しく心の準備を―
新小6年生"中学校体験入学"を実施

8月31日、新篠津中学校にて、新篠津小学校の6年生18名が体験入学を行いました。

この体験入学は、小中一貫教育の一環で実施。中学校の授業や部活を通し、先生や先輩との交流から、児童の入学に対する不安を解消することが目的です。

当日は、はじめにオリエンテーションを実施。学校の説明や校舎の見学を行いました。その後、理科の授業を体験。ガスバーナーの使い方の実習を受けました。授業前はいつもと違う教室と先生に緊張しながらも徐々に和らぎ、明るい雰囲気で授業を楽しんでいました。

また最後には、部活動の見学も行いました。3つのグループに分かれ、各部活を順に見学・体験。児童たちは、先輩から部活の内容や楽しさを丁寧に教えてもらい、生き生きとした満面の笑みがこぼれていました。

新しのつ"社交ダンスサークル"が開講中です！

7月より自治センターにて「新しのつ社交ダンスサークル」を開催しています。

講師は、岩見沢市でダンススクールトザワを経営している兎澤範子さんと平寿仁さん。お二人は令和2年までの10年間、岩見沢市の光陵中学校でダンスの授業を担当しており、楽しくわかりやすいと大人から子どもまで多くの方から好評です。

講師の平さんは「音楽に合わせて体を動かすことは、とても素敵なことです。社交ダンスは『難しい』と思われがちですが、そんなことはありません。年齢、経験を問わずその人にあったペースで無理なく動けますので、お友達を誘って楽しく踊ってみませんか」と話していました。

現在、新しのつ社交ダンスサークルは会員を募集中。開催日は毎週土曜日（月4回）の19時から20時まで。月謝は500円。新しのつ社交ダンスサークルへの問い合わせ、申し込みはダンススクールトザワまで。

（☎23・0793）

社交ダンスを披露する平寿仁さんと兎澤範子さん

岩見沢市内の中学校にてダンスを教える両講師

村の発展を願って― 令和５年度“村の日”村民の集いを開催

９月１日、自治センター大ホールにて、村の発展を祝う「村の日」式典が催され、新篠津村功労者顕彰などの表彰式が行われました。

表彰式では、村の発展に対し特に功労のあった３名に村功労者顕彰、功績が顕著であった２名と１企業に表彰し、３名と２企業に感謝状が贈られました。

なお、表彰された方々は以下の通りです。

【新篠津村功労者顕彰】
西井　通泰
藤永　康夫
髙井　博美

【社会福祉貢献賞】
佐藤　清美

【善行賞】
北土建設株式会社
山本　修

【感謝状】
株式会社開建工業
株式会社成田工業
岡崎　尚二
髙井　博美
藤永　康夫

（敬称略）

今年も盛り上がりました！
“第54回村内一周駅伝競走大会”

９月２日、第54回村内１周駅伝競走大会が開催され、各自治区や職場から11チームが参加しました。

当日は、やや強めの南風が吹く中の開催。５区間で約23kmに及ぶ白熱した戦いが繰り広げられ、それぞれの想いをたすきにのせ、ゴールまでつなぎました。

今年は１位が「第４A」２位に「第２・中央」３位に「第１キングス」でした。第４Aが２位と12分の差をつけ、圧倒的な走力を見せ優勝しました。

お疲れさまでした―
高等養護学校２学年“現場実習”を実施

村内８カ所の事業所のご協力により、今年度も現場実習を実施することができました。

９月４日から15日の10日間、各事業所の皆さまに支えられながら、学校ではできない貴重な経験をさせていただきました。生徒たちは、実際の職場で働くことを通して、様々な気づきを得て、仕事の大変さ、楽しさの両方を感じ取ることができたようです。生徒を温かく迎え入れ、指導していただいた事業所の皆さま、誠にありがとうございました。

文・写真提供：高等養護学校
進路指導部 藤原

スマホって便利！楽しい！高齢者向け“スマホ教室”を開催

9月14日、役場にて高齢者などを対象にした「スマホ教室」が開かれました。

スマホ教室は、多くの住民がスマホを使った情報収集や行政手続きがスムーズにできるよう、総務省デジタル活用支援推進事業を活用し村が企画。

当日は、12名が参加。通信関連会社から2名の講師を招き「電源の入れ方」や「カメラの使い方」そして「村公式LINEの使い方」など基本から応用まで丁寧に講習が行われました。

参加した住民は、講師の指導のもと、実際にスマホを操作しながら受講。

スマホをうまく操作できなかった際には、講師が一人一人、丁寧に指導し、参加者は自分のペースで操作を楽しみながら学んでいました。講習を終えた参加者の一人は「基本的な操作でも知らないことがあり勉強になりました。早速、家族に写真を送ってみたい」と話していました。

スマホ教室は、10月から12月まであと11回の開催。また「地図アプリの使い方」「インターネットの使い方」など内容も順次、変更予定です。10月に開催する「スマホ教室」については本誌15ページをご確認ください。

もっと知ろう もっと語ろう 認知症— “オススメ図書の展示会”を開催

9月11日から22日まで、自治センターにて「もっと知ろう もっと語ろう 認知症」と題し、認知症に関わる本の展示会が行われました。

この展示会は、毎年9月に定められている「世界アルツハイマーデー」に合わせ開催。9月は認知症について理解を深める機会として、リーフレットを配布するなどの活動が全国的に行われています。

村での活動は、認知症サポーター養成講座の講師オススメの本を展示。シンボルカラーであるオレンジ色の折り紙で飾付けがされた展示スペースを前に、来館した方々は「この本おもしろそうね」と興味津々でした。

認知症や介護予防に関する相談窓口は、村地域包括支援センターです。また、今回展示された本は、貸出しを行っています。お悩み相談および貸出し希望の場合は、地域包括支援センターまで気軽にご連絡ください。

村政を身近なものに— 新中3年生“村議会定例会を傍聴”

9月15日、新篠津中学校3年生が、9月6日から15日まで開会した第3回村議会定例会を傍聴しました。

この見学は、社会科の授業の一環として実施。生徒たちが村議会を身近に感じ、議会や村政に一層興味を持てるよう取り組んでいます。

当日の議会最終日では、一般質問を実施しました。村の一般事務などに対し、各議員が執行部に質問。新篠津の未来を見据えた真剣な議論に生徒たちは少し緊張しながらも熱心に耳を傾けていました。

住民生活係

高齢運転者支援講習会のご案内

高齢者やそのご家族を対象に、加齢に伴う運転の危険性についての講習や、安全運転診断などの体験を行います。また、運転免許の自主返納などの相談窓口も開設しますのでぜひお越しください。

〇日時：10月18日（水）13時30分～15時30分
〇場所：保健センター
〇内容：①13時30分～高齢運転者が起こす事故の危険性の講習会や、役立つ情報を紹介。
②14時30分～運転免許自主返納などの相談や交通安全指導車のドライビングシュミレーターによる安全運転診断など。

〇対象：高齢者とそのご家族
〇費用：無料
〇申込み：住民生活係まで電話。詳細は村HP。

Monthly News
今月のトピックス
新しく始まる取り組みや
大切なお知らせを紹介します！

10 Oct.

社会福祉協議会

地域包括支援センター職員（専門職）を募集します

〇募集資格：主任介護支援専門員（自動車運転免許証を持っている方）
〇勤務内容：介護など高齢者を支える窓口での介護・医療などの総合相談業務
〇勤務先：地域包括支援センター（保健センター内）
〇募集人員：１名
〇雇用期間：令和５年11月１日～令和６年３月31日（５ヵ月間）
〇勤務時間：８時45分～17時15分（昼休み45分）
〇休日：土・日・祝日・年末年始
〇基本月給：160,900円～（経験年数による）
〇諸手当：通勤手当、時間外手当など
〇募集期間：10月２日（月）～20日（金）
〇申込み：履歴書・資格証明書（写し）を社会福祉協議会へ提出。
〇その他：雇用先は村社会福祉協議会。面接日程は後日お知らせ。
〇問合せ：社会福祉協議会、地域包括支援センター（📞58-3363）または住民課高齢者介護係

地域包括支援センター

健康講演会のご案内

慢性的な足腰の痛みを抱えている人はとても多く、症状がひどくなると日常生活にも支障をきたすことがあります。整形外科医と理学療法士による、痛みを取るための整形外科治療と予防のリハビリ方法を一緒に学んでみませんか。

〇日時：11月6日（月）　13時30分～15時30分
〇場所：自治センター２階大ホール
〇内容：「足腰の痛みとさようなら!?」~痛みをとるための整形外科治療と予防のリハビリとは~
（講師：我汝会さっぽろ病院 整形外科部長 平山光久氏、市立札幌病院 理学療法士 高橋拓真氏）
〇申込み：不要
〇その他：65歳以上の方等の送迎あり。希望者は10月30日（月）までに電話連絡。
〇問合せ：地域包括支援センター
📞58-3363

総務係
提出期限が近づいています

「住民税非課税世帯支援給付金の確認書」の提出期限は次のとおりです。提出期限を過ぎると給付金を受け取ることができなくなりますので早めに提出してください。

期限　10月31日(火)

その他　確認書は、今年8月に対象となる可能性の高い世帯に対し、村から送付済み。

避難行動要支援者名簿の登録について

村では、災害発生時に自力で避難することが難しいと思われる要配慮者の避難支援を行うことを目的に「避難行動要支援者名簿」を作成しています。

対象　①～⑦のいずれかに当てはまる方①介護保険の要介護3以上の方②身体障害者手帳1級または2級をお持ちの方③療育手帳をお持ちの方④精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方⑤75歳以上でひとり暮らしの方⑥75歳以上のみの世帯の方⑦その他避難支援が必要と思う方

内容　避難指示よりも前段階で避難情報を伝え、避難支援者による迅速な対応が可能。避難所などでの処遇に必要な配慮、また関係団体と情報を共有し迅速な安否確認を行う。

申込み　登録をご希望の方は総務課総務係まで電話。

情報化推進係
初心者向けスマホ教室のご案内

好評につき10月も実施します。スマホの操作が苦手な方や使ったことのない方、持っていない方におすすめです。講師が2名体制でしっかりサポートしますのでご安心ください。

日時　①10月11日(水)②17日(火)③25日(水)④11月2日(金)　各日13時～15時

場所　役場2階2号会議室

内容　①電源の入れ方等の基本操作②スマホにアプリを入れる方法など③LINEの使い方など④マイナポータルの活用方法など

定員　8名(先着順)

費用　無料

申込み　前日までに情報化推進係に電話。

税務係
村税の納期限が近づいています

令和5年度村税(第3期目)の納期限は次のとおりです。忘れずに納めましょう。

コンビニなどでも納付ができます。納付書の裏面に納付できる金融機関、コンビニなどが記載されています。また、スマホ決済アプリでも納付できます。

税目　村道民税・固定資産税・国民健康保険税

期限　10月31日(火)

その他　LINEPay・PayPay・J-Coinからでも納付可能(バーコード読み取り)。

問合せ　納税相談は税務係まで、随時受付。

企画係
一日合同行政相談所を開設します

10月16日(月)から22日(日)までの行政相談週間にあたり、村では「一日合同行政相談所」を開設します。相談には行政相談委員、村の心配ごと相談員が出席する予定です。

日時　10月16日(月)9時30分～正午

場所　保健センター

申込み　不要

内容　①結婚・離婚・戸籍に関すること②年金・道路・環境・交通に関すること③土地・財産・保険・税金に関すること④国保・福祉・介護保険に関すること

その他　日常で悩んでいること、心配なことなど分野を問わず受付け(秘密は厳守)。

戸籍年金係
社会保険料控除について

国民年金保険料は、全額が社会保険料控除の対象です。日本年金機構から対象となる方に控除証明書を送付します。年末調整や確定申告で、国民年金保険料を申告するためにお使いください。

対象　令和5年に納められた保険料の全額

その他　家族の負担すべき国民年金保険料を支払っている場合は、自身の国民年金保険料に加え、その保険料についても控除が受けられます。また、社会保険料(国民年金保険料)控除証明書は、e-Taxで利用できる電子版の交付も行っています。利用方法は下記QRコードから。

マイナカード相談窓口のお知らせ

マイナポイントの設定支援は9月末に終了しました。

「健康保険証の利用登録」「公金受取口座の登録」の設定支援は引き続き行いますので、ご利用の際は戸籍年金係にご予約ください。マイナカード普及推進員は火曜・木曜の週2回、住民課窓口で相談

郵便局だより

年賀状印刷・喪中はがき印刷のお申し込み承り中です。11月7日(火)までのお申し込みで15%割引、11月8日(水)から12月7日(木)までのお申し込みで10%割引となり、早期お申し込みがお得です。また、Webでのお申し込みも便利でお得ですので、ぜひご利用ください。

を受け付けていますので、気軽にお問合わせください。

感染症担当

コロナワクチン接種のご案内

オミクロン株XBB対応ワクチンの接種が始まっています。接種を希望する方は、令和6年3月31日までの間に1回接種が受けられます。

場所 ①保健センター(16歳以上)②すこやかクリニック(18歳以上)③江別市内医療機関(15歳以下)

費用 無料

申込み 予約専用電話 ☎57・2275(平日9時30分～16時30分)

その他 15歳以下の方の予約方法は送付しているお知らせを確認。

保健予防係

インフルエンザ定期予防接種費用の一部助成について

村では予防接種法に基づき、主に高齢者のインフルエンザの発症と重症化を予防(個人予防)するために、接種希望者に対し費用の一部を助成しています。

対象 ①65歳以上の方②60～64歳で心臓・腎臓・呼吸器などに重い障害のある方

場所 ①すこやかクリニック新篠津(完全予約制)☎57・2334 ②その他の医療機関

※通院や入院などにより、やむを得ず村外医療機関で接種する場合、事前に保健予防係に連絡。

費用 千円(生活保護世帯は無料)

その他 接種時期は医療機関に確認。接種日は保険証などの本人確認ができるものを持参。

11月総合健診のご案内

日時 11月15日(水)・16日(木) 7時～受付開始

場所 保健センター

内容 特定健診(基本健診・後期高齢者健診)、各種がん検診(胃・肺(X線)・大腸・前立腺)、エキノコックス、肝炎、ピロリ菌、風疹抗体検査、歯周病検診・後期高齢者歯科健診(15日のみ)

申込み 10月2日(月)～10月13日(金)までに、保健予防係まで電話または下記QRコードから。

その他 詳細は広報6月号11ページまたは村HP。

ハロウィンジャンボ宝くじ
9月20日(水)発売!!
1枚300円
この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。
(公財)北海道市町村振興協会

12月バス検診のご案内

生活習慣病予防・早期発見、ご自分の健康状態を確認するために年1回の健康診査をおすすめします。

日時 12月1日(金)7時30分

※バスは保健センター前発着

場所 北海道対がん協会 札幌がん検診センター

内容 特定健診(基本健診・後期高齢者健診)、各種がん検診(胃・肺(X線またはCT)・大腸・前立腺・乳・子宮)、骨粗しょう症、エキノコックス、肝炎、ピロリ菌、内臓脂肪CT、風疹抗体検査

定員 50名

申込み 10月16日(月)～10月27日(金)までに、保健予防係まで電話または下記QRコードから。

その他 今年4月から来年2月末までに国保加入者で「特定健診」を受診した方に、抽選でギフト券など豪華賞品が当たります(応募不要)。

プレママ&ママのゆるヨガクラスのご案内

妊娠中、育児中のママ限定のゆるヨガ講座です。経験豊富なインストラクターと一緒に、こころとからだのリフレッシュ、親子スキンシップが体験できます。

労働関連情報PR コラボイベントinチカホ

労使トラブルの解決を支援する「個別あっせん制度」を紹介するパネル展や、社会保険労務士による労働問題や年金、社会保険の無料相談会を実施しますので、ぜひご来場ください。

○日時：10月14日(土) 10時～18時
○場所：札幌駅前通地下歩行空間 北大通交差点広場(東)
○申込み：不要
○問合せ：北海道労働委員会事務局 ☎011-204-5667

令和6年度の訓練生を募集します

北海道障害者職業能力開発校では、令和6年度の訓練生を募集します。

○対象者：障がいのある求職者
○科目：建築デザイン科・CAD機械科・総合ビジネス科・プログラム設計科・総合実務科
○申込み：10月2日(月)～20日(金)まで
○試験日：11月6日(月)
○内容：国語、数学、面接
○場所：北海道障害者職業能力開発校 砂川市焼山六十番地
○問合せ：最寄りのハローワークまたは北海道障害者職業能力開発校 ☎0125-52-2774 FAX 0125-52-9177

日時　10月18日（水）10時～11時30分
場所　保健センター
申込み　参加希望日の前々日までに、電話または下記QRコードから。詳細も下記QRコード。

地域包括支援センター

消費者トラブルに気を付けましょう

被害を未然に防ぐため、自分自身が消費者トラブルについて関心を持ち学ぶことが大切です。

気を付けたいトラブル
①屋根や外壁などの住宅修理
②公共料金などの契約切り替え
③健康食品や医薬品などの定期購入
④架空請求などのスマホトラブル
⑤在宅時の突然の訪問や電話勧誘
⑥還付金詐欺などの振り込め詐欺
⑦インターネット通販

消費者トラブルに合わない心得
①きっぱりと断る。
②うますぎる話は疑ってかかる。
③親切な態度にまどわされない。
④業者を簡単に家の中に入れない。
⑤個人情報を話さない。
⑥すぐに契約せず誰かに相談する。
⑦日頃から悪徳商法などの情報に関心を持つ。

問合せ　消費者ホットライン
☎（局番なし）188（いやや）

宝くじ 公式サイト
宝くじがネットで購入できる！
宝くじの収益金は、明るく住みよいまちづくりに使われます
宝くじ公式サイト
お問い合わせ先　宝くじコールセンター　TEL 0570-01-1192（ナビダイヤル 有料）　TEL 011-330-0777（有料）

UP DATE!! 地域おこし協力隊

今月の担当
早瀬　慶四郎

私たち新篠津村のこれから

9月1日、千歳市で次世代半導体の製造を目指すラピダス（東京）の起工式が行われました。投資総額5兆円規模の壮大なプロジェクトが始まった訳ですが、国も700億円もの開発費を拠出し期待感はとても大きいです。しかし、量産化が軌道に乗る為にはまだまだ大きな試練があるとも思われます。

私は30年ほど前、前職の地銀東京事務所勤務時代に、北海道への企業誘致活動に大きなやり甲斐を感じ、国内の企業回りに奔走していました「北海道の地域活性化の為には、技術が地元に根付くような物作り企業の誘致が不可欠」との強い思いがありました。

トヨタ関連の担当者の話で印象に残っていることがあります「北海道の人は大らかでさっぱりしている人が多いようですが、地場企業は揉まれ方が足りないのか、すぐに『ウチでは無理です』と諦めが早いようです。愛知県や静岡県の協力企業は『何とかやってみるので、ぜひウチにやらせてください』と言います。せっかく、北海道の企業を使おうにも、結局本州の協力企業を連れてくるしかないのです」とのことでした。その後間もなく、バブル崩壊、工業団地開発の三セク破綻、拓銀の破綻が怒濤のように押し寄せ、苦悩したことも記憶に新しいです。

水産業の200カイリ問題、産炭地域の衰退に端を発し、今だに少子高齢・過疎の進行はとどまる所を知らず、北海道地方都市の人口減・衰退は一層激しさを増しています。いくら自然が豊かで美味しい食材があっても、雇用の場があり生活の糧を得ることが出来なければ、そこに定住し家族を増やして行くことはできません。農業と観光が基軸となっている現在の動きの中で、私たちの新篠津村では、これから農業を活かしてどのような歩み方をして行くのか、改めてみんなで真剣に考えてみたいと思います。

テレビ塔イベントにて

健康一番

テーマ

はじめまして!?

今月の担当

社会福祉士

川田　育美

令和５年４月より、新篠津村地域包括支援センターで社会福祉士として勤務しております、川田育美（かわだいくみ）です。 簡単に自己紹介させていただきますと、苫小牧市出身で、福祉系の学校を卒業し高齢者・障がい者施設で４年、20年前に新篠津村に来てからは、ぱん家さんで８年、役場の会計年度任用職員として３年働いていました。福祉系の仕事はしていたものの、社会福祉士として働くのは初めてです。

「社会福祉士」と聞くと、難しく感じるかもしれませんので、簡単にご説明します。地域包括支援センターは、65歳以上の方々がいつまでも住み慣れた場所で、安心して生活できるようお手伝いをしていますが、その中で私は社会福祉業務（主に権利擁護と総合相談）を担当しています。健康や生活の不安や困りごとの相談を無料で受け付け、必要な援助やサービスを紹介したり支援する仕事です。誰に相談して良いのかわからない場合は、地域包括支援センターまでご連絡ください。

まだまだ未熟（年齢的にはかなり成熟）ではありますが、皆さまのお役に立てるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

ひゃくフェス

生涯学習 News

スポーツの秋 到来！

「スポーツの秋」の由来はご存じでしょうか？1964年の東京オリンピックが10月10日に開催され、その２年後の同日を東京オリンピックの記念として「体育の日」（現：スポーツの日）という祝日に制定されました。これにより「スポーツ＝秋」が定着し現在に至っています。

さて、新型コロナが５類に移行してから様々な活動が活発になってきたと感じます。その中の一つにスポーツ活動があります。実際にスポーツをする・見る活動がコロナ前に戻っていると実感しています。私自身、今年はサッカーの大会や村の駅伝に参加したり、エスコンフィールドでの野球観戦など、ここ数年よりもスポーツに関わる機会が多かったです。

皆さんはスポーツを「する」のが好きでしょうか？それとも「見る」のが好きでしょうか？私はスポーツをするのが好きですが、最近はスポーツを見ることも好きになりました。特にスポーツの現地観戦は、テレビで観戦するよりも感動と興奮を味わうことができます。

季節も10月に替わり、だんだんと過ごしやすい日が増えていくことと思います。スポーツをするにはちょうど良い季節になると思いますので、冬に向けてランニングなどの体力作りに取り組んでみてはいかがでしょうか？また、11月からは「健康づくりスポーツ教室」の開催を予定しています。詳細は広報誌などでお知らせしますので、ぜひご参加ください！

社会教育係においても、村民の方の健康づくりやスポーツ活動の推進に向けてよりよくしていくことを目指しています。各種行事へのご参加をお待ちしています！

水泳教室

食欲の秋ですね！

いまどきの青年 vol.416

盆踊り開催！

８月12日（土）コミュニティプラザ第一にて第一青年団が中心となり「盆踊り」が開催されました。今年は４年ぶりの開催で、準備から気合が入りとても楽しみにしていました。来てくれた皆さんに楽しんでもらえるように、おでん・焼き鳥・わたあめ・ビール・ジュースなど、そして新たに焼きそばを加え販売を行いました。

当日は、たくさんの子どもたちが輪になって踊り、笑顔あふれる盆踊りとなりました。最後にはお待ちかねの抽選会も行われ、大人から子どもまで大賑わいの中、締めくくることが出来ました。

参加してくださった皆さん、運営に協力していただいた皆さん、本当にありがとうございました！また来年もお待ちしております。

第２回スポーツ活動

８月25日（金）B&G体育館にて「第２回スポーツ活動」が開催されました。今回の競技はミニバレーボールで、第一と第二合わせて12名が参加し、３チームに分かれて総当たり戦を行いました。強烈なスパイクや技ありのサーブなど素晴らしいプレーが繰り広げられ、全試合白熱していました。また、今年の夏はとても暑く、外の気温は30℃越え、体育館の中も熱気が凄くて滝のように汗をかいていました（笑）。

終了後は懇親会を行い、新入団員との交流を図ったり、団員同士の親睦を深めることができました。次回のスポーツ活動も楽しみです！

４年ぶりの青空まつり

8月26日（土）「青空まつり」が開催され、青年団では恒例のヨーヨー釣りの出店をしました。４年ぶりの開催ということで団員達も気合を入れて準備を進めていきました。

当日は悪天候が予想されていましたが、とても晴天に恵まれ、久しぶりにたくさんの子ども達の笑顔を見ることができました。大人の方々にも一緒に盛り上げていただき、ありがとうございました。

青空まつりの出店は、青年団が村の方々と関わることのできる数少ない行事です。今年は、久しぶりに村の方々に青年団活動をアピールする場にもなり良い機会となりました。

10月 お知らせカレンダー

Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
4 ・英会話教室(自セ) 13：30～15：00／18：30～19：50	**5** ・元気アップ教室(BG) 10：00 ～ 11：30 ◎マイナンバーカード窓口支援日	**6** ・幼児教室(保セ) 10：00 ～ 11：30 ・シルバー人材センター開設(役場) 9：00 ～ 12：00	**7** 外：渓和会江別病院(011-382-1111)
11 ・マザーズ(保セ) 10：00 ～ 11：30 ・英会話教室(自セ) 13：30～15：00／18：30～19：50 ・スマホ教室(役場) 詳細15P 13：00 ～ 15：00	**12** ・元気アップ教室(BG) 10：00 ～ 11：30 ◎マイナンバーカード窓口支援日	**13** ・ふれあいレストラン(保セ) 10：30 ～ 13：00 ・シルバー人材センター開設(役場) 9：00 ～ 12：00	**14** 外：谷藤病院(011-382-5111)
18 ・プレママ&ママのゆるヨガクラス(保セ) 10：00 ～ 11：30 詳細16P ・英会話教室(自セ) 13：30～15：00／18：30～19：50 ・高齢運転者支援講習会(保セ) 13：30 ～ 15：30 詳細14P	**19** ・ふれあいレストラン(保セ) 10：30 ～ 12：00 ・元気アップ教室(BG) 10：00 ～ 11：30 ◎マイナンバーカード窓口支援日	**20** ・巡回健診(保セ) 受付7：00 ～ ・シルバー人材センター開設(役場) 9：00 ～ 12：00	**21** 外：江別市立病院(011-382-5151)
25 ・マザーズ(保セ) 10：00 ～ 11：30 ・英会話教室(自セ) 13：30～15：00／18：30～19：50 ・スマホ教室(役場) 詳細15P 13：00 ～ 15：00	**26** ・元気アップ教室(BG) 10：00 ～ 11：30 ◎マイナンバーカード窓口支援日	**27** ・幼児教室(保セ) 10：00 ～ 11：30 ・シルバー人材センター開設(役場) 9：00 ～ 12：00	**28** 外：谷藤病院(011-382-5111)

北海道内の事業場で働くすべての労働者およびその使用者に適用される北海道最低賃金が改定されました。

10月1日発効　時間額 960円

厚生労働省 北海道労働局 労働基準監督署(支署)

10月15日から31日は秋の火災予防運動期間

これから、暖房機の使用などにより、火災が発生しやすい時季を迎えます。住民の火災予防思想の一層の普及を図り、死者の発生を減少させることなどを目的とします。期間中に、消防車で巡回を実施し、住民の皆さまへ火災予防の啓発を行います。

新篠津消防署・新篠津消防団

お悩みのご相談は・・・

○心配ごと相談所(生活上の悩み・困りごと)
　社会福祉協議会
　電話相談可 090-9439-6550
○高齢者の介護・医療・福祉のご相談
　村地域包括支援センター
○妊娠・出産・子育てのご相談
　村子育て世代包括支援センター(保健予防係)

広報誌に対する具体的な意見を募集しています。皆さんのご意見をお待ちしております。

村で撮影した写真を募集しています。皆さんの大切な思い出を切りとった1枚をご提供ください。

新篠津村役場	社会福祉協議会	地域包括支援センター	自治センター	B&G体育館
📞57-2111(代表)	📞58-3335	📞58-3363	📞57-2011	📞58-3160

※診療科目
内：内科
小：小児科
外：外科

江別市

※診療時間は各病院へお問合せください。
※乳児の受診は困難な場合があるため、事前にお電話をお願いします。

岩見沢市内の緊急救急当番医

①岩見沢医師会のホームページ
②新篠津消防署 📞57-2034
③新篠津役場(当直)📞57-2111
まで直接ご確認ください

救急安心センターさっぽろについて

急な病気やケガで救急車を呼ぶか、医療機関を受診すべきか迷ったときは、救急安心センター(📞#7119)へお電話をしてください。

受付員や看護師が症状に応じて、119番への転送や医療機関の受診案内、応急手当などの助言を行います。(24時間365日利用できます)

自衛官等採用試験について

①陸上自衛隊高等工科学校生徒
中卒(見込み含む)17歳未満の男子
受付：10月1日(日)～令和6年1月5日(金)
②自衛官候補生
年間を通じ受け付けしています。
18歳以上33歳未満の方
※応募資格等の詳細は、下記連絡先もしくはメールにてお問合せください。
○問合せ：自衛隊札幌地方協力本部 江別地域事務所
📞011-383-8955
または住民課住民生活係

自衛隊札幌地方協力本部HP　　メールでのお問合せ

Sunday	Monday	Tuesday
1 ♨温泉の日 小：おおあさ鈴木ファミリー(📞011-386-5303) 内・外：渓和会江別病院(📞011-382-1111)	**2** ・B&G体育館トレーナー常駐日(BG) 10：00～14：00／16：00～20：00	**3** ◎マイナンバーカード窓口支援日
8 内：あさひ町南大通クリニック(📞011-383-9816) 外：渓和会江別病院(📞011-382-1111)	**9**　スポーツの日 内：緑苑クリニック(📞011-381-6490) 小：よしなりこどもクリニック(📞011-391-4470) 外：谷藤病院(📞011-382-5111)	**10** ◎マイナンバーカード窓口支援日
15 ・秋の火災予防運動期間 ～31日まで ♨温泉の日 内：平賀内科クリニック(📞011-382-5989) 外：谷藤病院(📞011-382-5111)	**16** ・こつこつサークル(自セ) 9：30～11：30 ・心配ごと相談所(保セ) 9：30～12：00 ・一日合同行政相談(保セ) 詳細15P 9：30～正午 ・遊ゆうクラブ(BG) 19：00～20：30 ・B&G体育館トレーナー常駐日(BG) 10：00～14：00／16：00～20：00 ・温泉休館日	**17** ・乳幼児健診(保セ) 9：00～12：30 ・スマホ教室(役場) 詳細15P 13：00～15：00 ◎マイナンバーカード窓口支援日 ・温泉休館日
22 内：高橋内科医院三番通り(📞011-387-7788) 小・外：江別市立病院(📞011-382-5151)	**23** ・B&G体育館トレーナー常駐日(BG) 10：00～14：00／16：00～20：00 ・遊ゆうクラブ(BG) 19：00～20：30	**24** ◎マイナンバーカード窓口支援日
29 内：大麻内視鏡内科クリニック(📞011-386-3366) 外：谷藤病院(📞011-382-5111)	**30** ・B&G体育館トレーナー常駐日(BG) 10：00～14：00／16：00～20：00 ・遊ゆうクラブ(BG) 19：00～20：30	**31** ◎マイナンバーカード窓口支援日

シルバー人材センター新会員・発注者を募集中！

村内で入会を考えている方、仕事内容を聞きたい方、個人や会社で仕事を頼みたい方がいましたら、ご相談をお待ちしています。
〈10月の開設日〉
6日・13日・20日・27日（毎週金曜日）
○連絡先：江別市シルバー人材センター
📞011-384-3771

法律相談

本村の顧問弁護士である橋本・大川合同法律事務所では、常時電話または事務所での相談を受けています。
ご相談の際は事前に連絡をお取りください。
札幌市中央区北4条西20丁目1番28号
橋本・大川合同法律事務所
弁護士　橋本　昭夫
📞011-631-2300　FAX 011-621-0403

広報 新しのつ
2023年10月1日発行
No.731

発行／新篠津村(〒068－1192)
北海道石狩郡新篠津村第47線北13番地
編集／総務課企画係

tel：0126－57－2111　fax：0126－57－2226
E-mail：kikaku2@vill.shinshinotsu.hokkaido.jp
印刷／㈱総北海札幌支社 札幌市東区北21条東1丁目4－6

”あの日”と”いま”を繋ぐ－

村民おもいでリレー

No. 6－

そしてこれから

豊野
森田　市郎さん(89)

忘れぬ思い出

私は新篠津村で生まれ、農家の8人兄弟の末っ子でした。早くに父を亡くし、兄たちとは年齢が離れていたので、兄たちが父親代わりでした。ただ兄たちは戦争で徴兵されたので、私は子どものころから農業を手伝っていました。当時は、燕麦や小豆などを育てていて、今のように米は育たなかったんだよ。

その頃は大雨になると石狩川だけでなく、近所の沼川も氾濫しました。そうなると畑の野菜、特に豆類はダメになってしまうのです。雨にはその後もかなり悩まされましたね。

戦争が終わると兄たちは札幌で暮らすことを選択したのでおのずと私は村で農業をしました。妻と結婚したのは26歳のときです。お互い村出身でしたが知人の紹介で出会い、札幌雪まつりに二人で行ったのが初デートですね。江別までバスで行き、そこから電車に乗って会場に行きました。当時から大きな雪像がありましたよ。

苦楽いろいろ

私は農業だけでなく綿羊を飼育していました。育てた羊から毛を刈り、業者に販売したり、自分でセーターにしたりしていました。年老いて毛が固くなった羊はジンギスカンにして食べました。当時は羊を飼っている家は多く、村では綿羊まつりという多くの人が参加するイベントもあったものです。ドラム缶を半分に割ったものに鉄板を乗せ、みんなでどぶろくを飲みながら羊肉を食べます。私はタレを作るのが得意だったので当時の村長から「祭りのタレは任せたぞ」と言われ、解体した羊を自家製のタレに漬け込む担当でした。

動物と言えばほとんどの農家が当時は馬を飼っていて、馬は家族同然でしたね。農耕のほか、冬には客土といって金沢の山から畑に適した土を馬ソリに積んで苦労しながら運んだものです。新篠津は泥炭地で畑に適していなかったので山から固い土を持ってきて入れ替えていました。昔は祭りとなると石狩川の堤防で競馬をやったものです。そういえば先日は4年ぶりの青空まつりでしたね。花火の音が聴こえてきました。

今を楽しむ

健康の秘訣ですか。食事で肉を沢山食べています。一家団らん、庭でジンギスカンをよくやりますよ！あとはパークゴルフ。今年は行けませんでしたが来年は絶対行きたいですね！

X　Instagram　Youtube
LINE　facebook　HomePage

村の人口・世帯数
令和５年９月１日現在

人　口	2,830人	(前月比　－2人)
男	1,366人	(　〃　＋2人)
女	1,464人	(　〃　－4人)
世帯数	1,365世帯	(　〃　－1世帯)